

## ■ 令和3年度 議会活性化特別委員会活動報告

### 1. 本特別委員会の令和3年度活動概要

開催回	開催年月日	活 動 内 容 等
第21回	令和 3年 6月 23日	*今年度の調査項目についての協議
第22回	令和 3年 7月 20日	*今年度の調査項目についての協議
第23回	令和 3年 8月 24日	*議会のICT化に関する協議
第24回	令和 3年 9月 15日	*議会のICT化に関する協議 *本会議録画配信に関する協議
第25回	令和 3年 10月 21日	*議会のICT化に関する協議 *本会議録画配信に関する協議
第26回	令和 3年 11月 16日	*議会のICT化に関する協議
第27回	令和 3年 12月 15日	*議会のICT化に関する協議 *委員会のオンライン開催・録画配信に関する協議
—	令和 4年 1月 12日 ～13日	*先進地調査（宮崎県日南市、宮崎県小林市）
第28回	令和 4年 2月 16日	*議会のICT化に関する協議 *委員会の録画配信に関する協議
第29回	令和 4年 3月 11日	*議会のICT化に関する協議 *委員会の録画配信に関する協議
第30回	令和 4年 3月 23日	*委員会活動中間報告についての協議
	令和 4年 3月 25日 (3月定例会最終日)	◎委員会活動中間報告

※第1回～第10回の委員会については、令和元年度に開催

※第11回～第20回の委員会については、令和2年度に開催

## 2. 先進地調査の実施

特別委員会として、令和4年1月に、日南市議会、小林市議会への調査を実施した。

### 【日南市議会】

#### ≪調査事項≫議会におけるタブレット端末の導入について

##### (1) 議会におけるタブレット端末の導入に至った経緯等について

###### ① 議会内部での議論の経過

No.	年月	主体・対象等	内 容
01	27年4月	—	平成27年4月の改選前に、一部の議員から、これまで郵送又はFAXで通知していた会議開催案内等を、効率よく把握するためのメール送信化について提案があったが、個人の保有する端末を活用することとなるため、通知の確実性が担保されないことから、議会事務局として、現状では組織的な実施に至らないと結論付ける。
02	27年7月	議会	改選後に議会改革推進特別委員会が設置され、議会におけるICTの活用が研究テーマとして設定される。
03	27年8月	全議員	議会改革推進特別委員会の主催で全議員を対象に、タブレット端末を活用した会議システムの体験研修を、企業の営業の一環として実施（富士通のサーバー型会議システム）
04	28年1月	議会改革推進特別委員会及び選抜議員	タブレット端末の活用先進議会である福岡県嘉麻市に訪問し、実機体験を含めた研修を実施（導入したシステムと同様のシステム）
05	28年2月	議会改革推進特別委員会	議会改革推進特別委員長から議長に対し、ICTの活用を研究する特別委員会の設置を提案
06	28年3月	議会	3月定例会においてICT活用推進特別委員会（委員7名）を設置する。また、委員会時のみ個人所有のICT機器の持込・使用試行を開始
07	28年10月	ICT活用推進特別委員会及び全議員	ICT活用推進特別委員会及び全員協議会において、タブレット端末のデモンストレーションを実施し、全会派において、ICTの活用を推進すべきとの合意形成が図られる。また、ICT活用推進特別委員会において、全員協議会における議員の意見等を考慮し、機器の仕様を決定
08	28年12月	議会	平成28年度分（3月分）の補正予算を可決
09	29年3月	全議員	タブレット端末導入、運用開始
10	29年6月	議会	ICT活用推進特別委員会を閉じ、所管を議会改革推進委員会へ戻す。議会改革推進特別委員会内にICT活用研究会（メンバー6名）を設置し、研修方法のあり方や多様な活用手法、次期更新期の方針等を協議中で、現在に至る。

## ② 市当局との議論の経過

No.	年月	主体・対象等	内 容
01	28年2月	議会事務局	関係課（総務・総合戦略・財務）に議会での協議状況を報告
02	28年3月	正副議長 及び 議会改革 推進特別 委員会 委員長	ICT活用推進特別委員会の設置にあたり、正副議長及び議会改革推進特別委員長から市長に対し、調査研究及び実施に向けた協力を要請
03	28年7月	議会事務局	議会事務局より市長・副市長に対し、議会の協議経過を報告。市長より、「①地元立地企業に配慮してペーパーレス化は極力推進しないこと」、「②県内初導入となることを考慮して運用面に万全を期すこと」との要請を受ける。
04	28年9月	議会事務局	関係課（総務・総合戦略・財務）と、タブレット端末（メールの活用を含む）及び文書共有閲覧システムの市当局の活用について協議する。

## (2) 具体的な活用方法について

ア 本会議：議案、提案理由説明等の閲覧

イ 委員会：議案、委員会資料の閲覧

※別途の取り決めにおいて会議の目的外使用を禁止する事項を規定している。また、申し合わせにおいて、自席にタブレットを必ず置くということとしている。

ウ 行政視察受入：オンライン対応で活用

エ その他：情報伝達（G-mail）、議会スケジュール管理（Google カレンダー）、市の各種計画の閲覧（Side Books）、写真・動画撮影、インターネット検索

## (3) タブレットに係る費用

## ① 初期導入費・初期研修費用等

初期導入費 設定費用・初年システム管理費・ 研修費用（2回分）等	866,867 円
初期研修費5回分、 次年度システム管理費等	349,920 円
合計	1,216,787 円

## ② 端末代

タブレット端末 25 台 (iPad-Pro12.3 型) ※平成 29・30 年の 2 カ年支払い後 市の所有 ※令和 3 年 4 月から iPad9.7 型に 機種変更し、22 台とする。	1,357,560 円
---	-------------

### ③ ランニングコスト

タブレット端末通信費等
月額 217,058 円 (H29~H31 年度)
月額 184,442 円 (H31~R2 年度)
月額 190,702 円 (R3~R4 年度)

※事務局にも Wi-Fi 環境を整え、通信に係るプランを全体で月の上限通信料を 100GB シェアするプランとしている。

#### (4) 導入後のメリットについて

- ・事前の電子データ閲覧による会議進行の円滑化、過去の資料との対比等が容易になり、市民の問い合わせへの対応が充実した。
- ・議会事務局からの通知・案内、情報提供を各端末に設定している G-mail で行うことで、事務の効率化が図られた。
- ・Google カレンダーによる議会スケジュールの情報共有ができ、会議調整や管理が容易となった。

#### (5) 導入後の議員への操作方法研修やシステムメンテナンス等について

議員への操作方法研修については、導入後 1 年間のみ実施し、以降は随時、議員間や事務局が実施。OS やアプリのアップデートは Wi-Fi 環境がない議員は定例会時に事務局において対応

#### (6) 使用に関する取り決めやルールについて

「日南市議会におけるタブレット端末使用の取り決め」を規定

#### (7) 今後の課題等について

普段から使用している議員と、そうでない議員との差が生じるため、できるだけ普段から使用できる取り組みや操作しやすいシステムの検討の必要性がある。

### 【小林市議会】

#### 《調査事項》議会におけるタブレット端末の導入について

##### (1) 議会におけるタブレット端末の導入に至った経緯等について

No.	年月	主体・対象等	内 容
01	25 年 6 月	事務局	議会音響・中継設備等の更新・運用について及び新庁舎建設に伴う新議場構想を協議する中で、タブレット端末の活用について調査
02	26 年 1 月	議会運営委員会	行政視察（埼玉県飯能市） ・タブレット端末の導入について
03	28 年 5 月	議会運営委員会	行政視察（福岡県嘉麻市） ・タブレット端末の導入について
04	29 年 3 月	議会運営委員会	議会改革の取り組みの一環として、引き続き（次期体制で）協議することを確認
05	29 年 8 月	事務局	ICT セミナー in 鹿児島参加（事務局）

06	29年10月	会派代表者 会議	全議員が「小林市防災・防犯メール」に登録 会派代表者会議において、災害時はメールを活用した情報伝達 が有効であるため、議会BCPに関連して、緊急の連絡手段 として試験的にメールによる連絡を実施することを決定 ※タブレット端末導入の入り口として、携帯メールの活用 から実施
07	30年3月	会派代表者 会議	小林市議会BCP計画の策定に伴い、大規模災害発生時の通 信手段として導入することを確認
08	30年3月	議会運営 委員会	執行部及び県内9市の状況等を調査しながら、タブレットを 活用したよりよい議会運営について、議会運営委員会におい て協議することを確認
09	30年4月	事務局	タブレット導入のための視察研修（事務局） 日南市
10	30年6月	議会運営 委員会	タブレット導入について具体的検討の開始 以下のことについて確認 ①メール等による情報伝達をはじめ、各種資料のデータでの 保有や過去の資料の検索など議員活動の更なる活性化・効率 化を図るものであり、必要な紙資料をなくすものではない。 ②操作・活用方法については、導入までに研修等を実施する ③タブレットの運用ルール等を調査するための行政視察を 計画する
11	30年7月	議会運営 委員会	行政視察 ・ICTセミナーin宮崎（東京IP主催） ・タブレット端末の導入について（日南市） ・タブレット端末の導入について（曾於市）
12	30年7月	事務局	議会タブレット活用業務部会設置 （～R1/6/10 計7回）
13	30年8月	議会運営 委員会	今後の進め方について確認 ①平成31年6月から導入・運用開始に向け協議を進める ②導入前だけでなく、導入後も定期的な研修を実施し、技術 の向上を図る ③通信連絡手段及び資料のデータ化を優先し、ペーパーレス 化は今後研究を進める ④議会だけでなく、執行部との連携についても協議する ⑤導入後の導入はもとより、コストや費用対効果についても 検証を行っていく
14	30年8月	全員協議会	議運の行政視察報告 （タブレット導入の決定について）
15	30年10月	事務局	議会用タブレット端末導入に関する情報提供依頼（RFI）の実 施
16	30年11月	情報化推進 委員会	議会用タブレット端末の導入に係る情報化推進委員会開催 （庁内会議）
17	31年1月	議会運営 委員会	タブレット端末の運用ルールについて協議
18	31年2月	全議員	タブレット操作研修会①

19	31年 3月	議会運営委員会	議会用タブレット端末の運用に係るルール（案）確認
20	31年 4月	選定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会タブレット会議等システム導入・運用業務受注候補者選定に係る第1回選定委員会</li> <li>・小林市議会タブレット会議等システム導入・運用業務プロポーザル実施</li> </ul>
21	R元年5月	選定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会タブレット会議等システム導入・運用業務受注候補者選定に係る第2回選定委員会</li> <li>・小林市議会タブレット会議等システム導入・運用業務に係るプレゼンテーションの実施</li> <li>・受注候補者の決定</li> <li>・契約作業</li> </ul>
22	R元年6月	全議員事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの納品</li> <li>・操作研修会②</li> <li>・試験運用の開始（紙資料との併用開始）</li> </ul> ※本会議・委員会・全協
23	R元年6月	議会運営委員会	タブレットの運用に係る確認
24	R元年9月	議会運営委員会	タブレットの運用に係る確認
25	R元年9月	全議員	本会議資料等の紙希望調査（ペーパーレスの試行）
26	R元年11月	全議員	タブレット操作研修会③
27	R元年11月	全員協議会	全協資料等の紙希望調査（ペーパーレスの試行）
28	R元年12月	全議員	12月定例会 議案以外の紙文書の配付を希望者のみとする ※委員会資料は紙文書と電子文書を併用 ※全員協議会においても紙文書の配付を希望者のみ
29	R2年 1月	議会運営委員会	行政視察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末の運用について（福岡県久留米市）</li> <li>・タブレット端末の運用について（佐賀県佐賀市）</li> </ul>
30	R2年 7月	全議員	タブレット操作研修会④（Wow talk）
31	R2年 7月	全議員	災害情報伝達及び災害時対策会議の訓練
32	R2年 8月	全議員	タブレット操作研修会⑤（各種機能） タブレット操作研修会⑥（Side Books）
33	R3年 1月	全議員	タブレット操作研修会⑦（Zoom）
34	R3年 3月	全議員	タブレット操作研修会⑧（Side Books・Zoom）
35	R3年 7月	全議員	災害対策訓練及びタブレット研修⑨（Zoom）

**(2) 具体的な活用方法について**

- ア 本会議：議案、提案理由説明等の閲覧  
※質問席ではタブレット使用可、登壇時は使用不可
- イ 委員会：議案、委員会資料の閲覧
- ウ 研修会等：Zoomによるオンライン会議（会派代表者会議等）、研修会、行政視察
- エ その他：情報伝達（Wow Talk）、議会スケジュール管理（Google カレンダー）、市の各種計画の閲覧（Side Books）、写真・動画撮影、インターネット検索

**(3) タブレットに係る費用****① 端末代**

タブレット端末 24 台 (iPad-Pro) ※令和元年度～令和 3 年度の 2 カ年 支払い後市の所有	3,716,928 円
---	-------------

**② ランニングコスト**

通信費及び手数料	4 カ年分	3,928,341 円
Wow Talk(アプリ利用料)	4 カ年分	315,360 円
Side Books(アプリ利用料)	4 カ年分	3,297,600 円
ランニングコスト 総額		7,541,301 円

4 年間費用総額：11,258,229 円(1 年間当たり約 2,815,000 円)

※事務局にも Wi-Fi 環境を整備

通信プランを全体で月上限通信料：100GB シェアプラン上限

実績は使用量の多い月でも約 60～70GB 程度

**(4) 導入後のメリットについて**

- ・情報連絡手段の確保及び迅速性の向上  
(一斉発信による効率化、未読・既読確認ができる)
- ・資料携行の省力化
- ・インターネット活用した情報収集
- ・オンラインによる会議・研修会の実施
- ・データ視覚化による市民への情報伝達の充実
- ・共有カレンダー活用によるスケジュール管理

**(5) 導入後の議員への操作方法研修やシステムメンテナンス等について**

- ・研修において、講師は初回が納入業者、2 回目以降は事務局職員が実施
- ・システムメンテナンスは、OS のアップデートを事務局の Wi-Fi を使用して実施し、アプリは自動でアップデート

**(6) 使用に関する取り決めやルールについて**

「小林市議会におけるタブレット端末の運用ルールについて」により規定

**(7) 今後の課題等について**

- ア 改選時の操作研修等

- ・新人議員に対して、タブレットの操作研修やペーパーレスの推進について理解を得ることが必要
- イ タブレットの更新
  - ・当初の導入計画は、令和5年4月の改選までのため、その後のタブレット及び内部データ等の取扱いについて協議しておく必要がある。
- ウ 執行部のタブレット導入
  - ・執行部のタブレット導入について予定はないが、導入の際は、議案の取扱等の調整が必要

### 3. 委員会での検討結果

#### 【議会ICT化】

##### (1) 議会ICT化検討の経緯

議会ICT化については、令和元年度末に延岡市議会業務継続計画（BCP）を策定したことから、令和2年度においては、BCPの観点及びコロナ禍を踏まえ、スマートフォンアプリのラインワークスを年度途中から導入し、災害時の安否確認の訓練実施を行った。また、平常時においても会議等の日程調整等の手段として活用を図ってきた。

次に、タブレット端末の導入については、平成29年度まで設置されていた「議会のあり方検討特別委員会」において、費用対効果や他市議会の動向なども踏まえながら、今後研究していくとの方向性が示されていたことから、本特別委員会において、先進地視察を行うなど調査・研究を行ってきた。

##### (2) 委員会での検討結果

###### ① スマートフォンアプリの活用方法

アプリ機能を精査し、災害時の安否確認、情報共有・伝達的手段など、災害発生時の活用方法に加え、スケジュール調整及び共有など、平常時の活用方法の整理を実施し、議会共通の活用方法のルールを整備した。

###### ② タブレット端末の導入

来年度において本委員会とは別に、導入に向けた技術的な検討を中心に行う新たな組織を設置し、令和5年度からの導入を目指すこととする。

#### 【本会議委員会の録画配信】

##### (1) 本会議及び委員会の録画配信検討の経緯

令和2年7月より本会議録画映像の試行配信を行い、令和3年3月議会以降は、正式運用としたことから、令和3年度においては、YouTubeの分析機能を用いて、視聴回数等の検証を行ってきた。また、同様に検証結果を踏まえながら、委員会の録画映像配信の検討も合わせて検討を行った。

## (2) 委員会での検討結果

### ① 本会議の録画配信

定例会・臨時会のアップロードから公開までの期間等を区分し視聴回数等の検証を行い、議会だよりへの個人のQRコードの掲載（8月以降）、定例会中の一般質問のアップロード（9月以降）、市のホームページリニューアルに合わせた議会ホームページのリニューアル（12月1日）など、継続して、より早く、見やすく、動画までたどり着きやすくするための取り組みを実施した。そのことにより、本会議録画映像のインターネット配信工程の効率化、定型化が図られた。

### 本会議録画動画配信の視聴回数（You Tube アナリティクスでの分析結果）

動画の内容		最終動画 公開日	分析対象期間	期間中の 総視聴 回数※	備考
令和 3年	3月定例会	4月 1日	4月1日 ～ 5月31日	1,159回	
	5月臨時会	5月18日	6月1日 ～ 6月30日	819回	
	6月定例会	7月 6日	7月1日 ～ 8月31日	1,666回	議会だよりに一般質問の議員個別QRコードの掲載（8月議会だより以降）
	9月定例会	10月1日	9月1日 ～ 11月30日	1,051回	一般質問の会期内アップロード（9月定例会以降）
	12月定例会	12月20日	12月1日 ～ 1月3日	425回	市HPリニューアルに合わせた議会HPリニューアル（12月1日）
	12月臨時会	1月 4日	1月4日 ～ 1月30日	239回	
令和 4年	1月臨時会	1月31日	1月31日 ～ 2月13日	283回	
	2月臨時会	2月14日	2月14日 ～ 3月2日	161回	

※視聴回数は、最新動画のみではなく、それまでに公開したすべての動画を視聴対象に含めたもの

### ② 委員会の録画配信

本会議の録画配信における視聴回数等の検証や取り組み、委員会配信を行うために必要な設備の本市での整備状況を踏まえ検討し、さらに県内他市等の委員会配信状況も調査を実施した。その結果、来年度において、既設の設備により録画が可能

である議会大会議室で開催される委員会等を録画し、それらを検証することで、想定される懸念等について検証・検討を行い、最終的な結論を出すこととした。

検討過程においては、まず、委員会は、本会議において付託された議案の審査機関として、専門的立場から詳細かつ能率的な審査を行い、各種の意見を調整し、その経過と結果を本会議に報告することが求められることを改めて確認した。

その上で、録画配信のメリットや想定される懸念等の整理を実施したが、まずメリットとして、インターネットの通信環境と端末があれば、傍聴に来なくとも会議の様子を視聴できることや、どのような会議の経過により、どの議員や当局職員がどういった発言をしたかといった審査の経過の詳細が映像により確認できることなどが出された。一方で、懸念等として、執行機関側がその場で質疑に答弁することになるが、誤回答をしないことを念頭に、後刻改めて説明を行うことや、後日資料提供を実施するといった対応が生じる可能性、また、映像で配信されることを意識し、自己の意見を長尺で述べることにより、効率的な会議運営に支障がでる可能性など、結果として委員会の所期の目的が円滑に果たせなくなることへの懸念が提示された。

また、委員会の録画配信について県内他市に対して調査したところ、令和3年12月時点で実施している市はなく、宮崎県議会においても同様に実施していない状況であった。

#### 4. 今後の活動予定等

今年度においては、議会のICT化の検討を主に実施し、スマートフォンアプリ活用方法の整理や、タブレット導入の方向性について協議を行った。さらに、令和3年3月定例会以降に正式運用とした本会議録画映像のインターネット動画配信の視聴回数等に基づいた検証を行い、配信工程の効率化、定型化が図られたところである。

来年度以降は、令和5年度以降のタブレット端末導入に向けて、導入に向けた技術的な検討を中心に行う新たな組織において、各種事項の詳細な検討を行い、その上で、意見調整や決定については、既存の本委員会とすみ分けを図り、検討を進めることとする。

また、委員会映像の録画映像の配信については、具体的な録画映像を検証することで、想定される懸念等について検証・検討を行い、委員会としての最終的な結論を出すこととする。